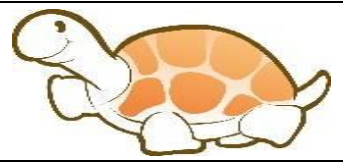




のこのこたより

令和 4年12月 第92号



社会福祉法人 晃宝会
特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所: 奈良市南肘塚町99番1
電話: 0742-24-0878 fax: 0742-23-0373

介護とテクノロジー

介護の人材不足を補う手段としてテクノロジーを利用することについては賛否両論があると伺います。介護は人が通る道筋であり、「人をケアする、人にケアされる」時に大切なことは、双方のコミュニケーション、良好な人間関係です。「介護は人」ということになります。

介護テクノロジーの条件は、ケアの質が上がること、双方が幸せになることで、新しいライフスタイルの想像創造です。テクノロジー（センサー、ロボットコンピュータなど）の役目は、あくまでも人のアシスト（助っ人）であり、人の尊厳を守る、自立支援を行う、人間中心で、不易流行であることです。

二人介助でないと安全にできないことをロボットを利用することで、安心安全に一人で行う仕事として職員やご利用者に認めていただきます。たとえば、ある病院のコンディカルとして活躍するホスपी（病院内自律搬送ロボット）は、職員さんにも患者さんにも受け入れられ、なくてはならない存在のように。

洗濯機の歴史をみていくと、紀元前3000年前から洗濯は行われていて、1797年洗濯板が発明、1800年代にたく拌洗濯機が考案、1930年日本発の電気洗濯機が販売されました。1960年代の洗濯機普及率は50%、1970年代には100%となり、現在は全自動洗濯機乾燥機と、進化し続けています。

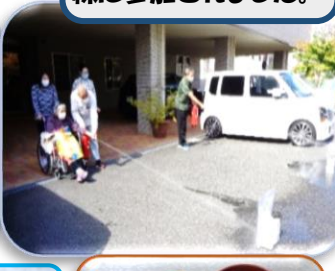
昔、洗濯は人の手で行う、その後、機械で行うと、常識が変化しました。たとえ技術的に未熟であっても、人々が積極的に使い、普及率が高まると、同時に技術も進歩します。テクノロジーの導入、成長、成熟においては、社会（人々）の変化と技術革新が必要です。

安心して高齢を迎えることのできる未来を創造していくために、介護現場のテクノロジーも、人の尊厳を守り、安全に配慮され、人の幸せにつながるため、社会（人々）に必要とされ、技術が向上し洗濯機のように、なくてはならない存在になることを願っています。

新人職員研修として、水消火器を使用して初期消火活動の訓練を行ったり、地震や風水害に備えての宝の建物構造や避難行動について研修しました。

今回、ご利用者様も水消火器を使用した訓練に参加されました。

秋の防災訓練を開催！宝のスタッフの避難誘導により、ご利用者様が安全に避難されました。



10月生まれのご利用者様のお誕生日をお祝いました。

可愛らしい誕生日カードありがとう！



本日の昼食は、大人気のお寿司のオーダーバイキングです。お寿司と一緒に赤だし、茶わん蒸し等も完食されました。どのご利用者様もお腹がいっぱいになられて、笑顔の昼食会となりました。

12月の行事予定
16日: お誕生日会
20日: クリスマスコンサート (ポルポラシスターズ) 10:30
23日: クリスマス会(昼食)

いつもご協力、ご支援ありがとうございます。敷地内工事のため近隣の皆様にご迷惑をおかけしております。新型コロナウイルスの影響により、12月の行事は園内のみとさせていただきます。

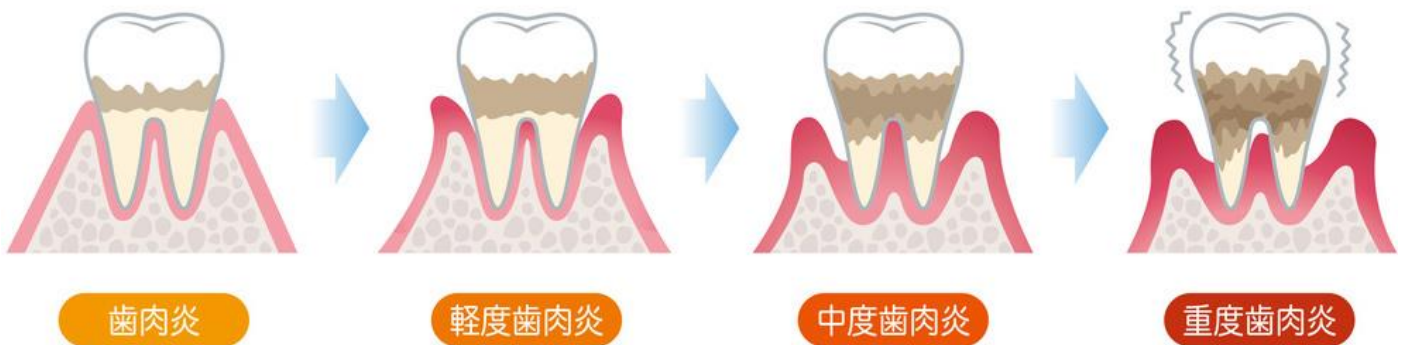


第68回 歯を磨いたら血が出るのはなぜ？

歯磨きで除去できていない歯垢と歯茎が炎症を起こし、出血します。この状態を「歯周病」と呼びます。歯周病は、自覚症状がないまま全身の疾患に悪影響を及ぼしかねないので、早めに処置をしましょう。

☆自覚症状のないまま進行してしまう歯周病

歯垢を歯磨きでしっかりと除去できていないと、歯と歯茎の間に付着し続けてしまい、溝に溜まります。歯垢は細菌の塊なので、放っておくと細菌が毒素を出して歯茎を刺激し、炎症を起こし、出血します。これが「歯周病」です。進行すると歯ブラシや、食事をするとき食べ物が当たる程度の少しの衝撃が加わるだけでも出血するようになります。歯周病は自覚症状がないまま進行していく病気です。別名「沈黙の病気」とも呼ばれています。歯周病には、症状が悪化することに段階があります。初期段階を「歯肉炎」と呼び、歯茎に炎症が起こるのみで、痛みなどの自覚症状はほとんどありません。歯肉炎が進行すると、「軽度歯周炎」になり、歯茎の境目から出血がみられます。歯磨きをするときに出血する人は、この状態にあてはまります。さらに症状が進行した「中度歯周炎」になると、痛みを伴うため、歯磨きができなくなります。こうなると、口内細菌を除去できなくなるため症状はさらに悪化していきます。さらに進行した「重度歯周炎」になると、炎症が歯茎を形成している内部の骨まで到達して、骨を溶かしはじめます。やがて、歯がグラつくようになり、最悪の場合、歯が抜けてしまうこともあります。また、歯茎からの出血に加え膿が出ます。この状態は、口臭もひどくなるのが特徴です。歯茎の炎症が進行すると歯肉が退縮(歯茎が下がっていくこと)していき、下に下がることで歯が長くなったように見えるので見た目も変化します。



☆他の病気とも影響を及ぼし合う歯周病

歯周病は進行すると歯だけの病気にとどまらなくなります。細菌の出す毒素が、血管や気管を通じて全身にめぐり、病気の原因になるのです。もし、併せて持病があるようなら、症状の悪化の原因になります。糖尿病の人は歯周病の進行が早いのですが、歯周病を治療することにより、糖尿病の症状の改善につながることは研究結果として証明されています。歯周病を治すことで、糖尿病が治るというわけではありませんが、相互に関係しているので糖尿病の方はとくに歯周病の治療は怠らないようにしましょう。糖尿病以外にも肺炎や早産その他、全身の疾患に影響を及ぼすこともあります。

☆「血が出るから」と歯磨きをやめないことが重要

歯ブラシをしていて出血すると、驚いて歯磨きをやめてしまう人が多く見受けられます。これは逆効果で、歯垢がどんどん溜まっていき、歯周病の悪化の原因になります。歯垢が溜まりやすくなると、歯と歯茎の間の溝は深く大きくなっていきます。すると歯垢が溜まりやすくなり、歯周病になる可能性がより高くなります。大切なのは毎日の歯磨きです。多少の出血はすぐ止まりますので優しく歯磨きを続けて歯周病が悪化することを食い止めます。